ランデックスコート
WS 疎水剤　+
FC 特殊工法
施工要領書

WS 疎水剤 A 工法　+　FC 特殊工法

WS 疎水剤 B 工法　+　FC 特殊工法

大日技研工業株式会社

東京都中央区日本橋人形町 2-14-14

電話/03-3639-5131　FAX/03-3639-5129

施工上の注意事項 ―――― 施工前に必ずお読みください ――――

【全般】

1. 材料はご使用前にハンドミキサーで十分撹拌してからご使用ください。
2. 材料は直射日光を避け 5℃～30℃で保管してください。
3. 気温 5℃以下、湿度 85%以上では硬化不良を起こすことがありますので施工は避けてください。
4. 降雨時、または降雨が予想されるときの施工は避けてください。完全に塗膜が乾燥しないうちに雨（水）があたりますと、流れたり白く濁ったりする可能性があります。
5. エアレススプレーを用いる場合、回転チップクリーナー用ノズルチップは口径 0.3 ㎜～0.35 ㎜をお勧めします。
6. 室内の塗装では、換気に十分注意してください。
7. 高性能の塗膜を作るために、使用量は厳守してください。

【下地について】

1. コンクリート下地の白華除去やジャンカなどの補修は前もって行ってください。
2. 埃や汚れはあらかじめサンドペーパーなどで除去してください。
3. コンクリート、モルタルの養生は十分に行ってください。原則として、夏場で 2 週間、冬場で 4 週間が適当です。コンクリートの表面水分率目安 7%以下で施工してください。

【プライマーについて】

1. ピンホール部分からの雨水の侵入による雨染みを防ぐため、新築 RC 面の雨があたる場所への塗装は WS プライマー200 を塗布する B 工法で施工してください。
2. WS プライマー200 は溶剤（危険物第四類第二石油類）に該当しますので、取扱いや保管には十分注意してください。
3. 不透明カラー仕上げの場合、プライマーアクア#50 が適しております。
4. 施工する下地（RC、モルタル、PC 板、押出成形板、GRC 板面）によりプライマーの種類が異なることがありますので、あらかじめ当社へご相談ください。

4-1. RC 面の新築・改修で既存塗膜がない場合 →WS プライマー200（溶剤）

4-2. PC 板、押出成形板、GRC 板面の新築・改修
RC 面の改修で既存塗膜がある場合 ┐ →プライマーアクア#50（水性）

【WS 疎水剤について】

1. 半透明タイプの塗装は、下地の色がそのままあらわれます。コンクリート打放し面の補修を行う場合は、できるだけ下地の色に近い補修材をご使用ください。
2. 吹き付けムラ、ローラー塗装での塗料溜り、塗り継ぎによるムラに注意して均一に塗装してください。
3. 半透明カラーでブラウン系やブラック系などの濃い色の場合、通常 2 回仕上げですが、標準塗布量 0.25 kg/㎡を 3～4 回に分けて吹き付けるとムラを少なく仕上げることができます。
4. ローラー塗りの場合原則無希釈ですが、吹き付け塗装の場合は 5%以内で希釈し使用してください。

【WS-B（ツヤ消）　クリアについて】

1. 「WS-B（ツヤ消）　クリア」は、光沢のない自然な仕上がりを実現させるため、艶消剤を添加しております。それにより色彩は完全なクリアではなく、若干白みを帯びています。そのため、塗装ムラ（塗り継ぎ、タッチアップ跡）が出やすいので、面を切って塗装するなどの工夫をしてください。
2. 「WS-B（ツヤ消）　クリア」は、艶消剤を添加していることにより、成分が沈降している場合がありますので、ハンドミキサーで十分に撹拌してご使用ください。

WS 疎水剤　+　FC 特殊工法　施工要領

下記より、適切な工法をお選びください

RC 面 …… 【内壁】 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 標準施工仕様　①
【外壁】 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 標準施工仕様　②
【外壁不透明仕上げ】 ＿＿＿＿＿ 標準施工仕様　③
PC 板、押出成形板面 …… 【内・外壁】 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 標準施工仕様　③

既存塗膜あり（改修工事）
RC、PC 板、押出成形板面 …… 【内・外壁】 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 標準施工仕様　③

標準施工仕様

①　A 工法　+　FC 特殊工法（プライマーなし）

工　程	使用材料	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔	塗装方法
上塗り 1 層目	WS 疎水剤	0.13～0.16	3 時間以上	ローラーまたは エアレス
色斑調整材 塗布	FC コート	0.1～0.2	2 時間以上	ローラーまたは エアレス
	・全面塗りの場合はローラーまたはエアレスで、部分補修の場合はスポンジ等で施工調整してください。			
パターン付け	パターン液	0.02～0.05	1 時間以上	スタンプ台 スポンジなど
	・スタンプ台で FC コートの上をたたくようにしてコンクリート風の模様を付けます。 ・パターン液は現場に合わせて水で希釈し濃度を調整してください。 ・色は PT-N の 1 色です（日塗工 N-55 程度）。			
上塗り 2 層目	WS 疎水剤	0.07～0.09	—	ローラーまたは エアレス
全体チェック	・やや離れたところから見て、色ムラがないかを確かめてください。 ・色ムラがあった場合は、もう一度 FC コート+上塗りで直してください。 ・足場のある間に、全体のバランスを再確認してください。			

②　B 工法　＋　FC 特殊工法（雨染み防止用プライマー使用）

工　程	使用材料	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔	塗装方法
下塗り	WS プライマー200	0.1（ℓ/㎡）	3 時間以上	ローラーまたはエアレス
上塗り 1 層目	WS 疎水剤	0.13～0.16	3 時間以上	ローラーまたはエアレス
色斑調整材塗布	FC コート	0.1～0.2	2 時間以上	ローラーまたはエアレス
	・全面塗りの場合はローラーまたはエアレスで、部分補修の場合はスポンジ等で施工調整してください。			
パターン付け	パターン液	0.02～0.05	1 時間以上	スタンプ台スポンジなど
	・スタンプ台で FC コートの上をたたくようにしてコンクリート風の模様を付けます。 ・パターン液は現場に合わせて水で希釈し濃度を調整してください。 ・色は PT-N の 1 色です（日塗工 N-55 程度）。			
上塗り 2 層目	WS 疎水剤	0.07～0.09	—	ローラーまたはエアレス
全体チェック	・やや離れたところから見て、色ムラがないかを確かめてください。 ・色ムラがあった場合は、もう一度 FC コート+上塗りで直してください。 ・足場のある間に、全体のバランスを再確認してください。			

③　B 工法　＋　FC 特殊工法（水性カチオン系プライマー使用）

工　程	使用材料	塗布量（kg/㎡）	塗装間隔	塗装方法
下塗り	プライマーアクア#50	0.1	3 時間以上	ローラーまたはエアレス
上塗り 1 層目	WS 疎水剤	0.13～0.16	3 時間以上	ローラーまたはエアレス
色斑調整材塗布	FC コート	0.1～0.2	2 時間以上	ローラーまたはエアレス
	・全面塗りの場合はローラーまたはエアレスで、部分補修の場合はスポンジ等で施工調整してください。			
パターン付け	パターン液	0.02～0.05	1 時間以上	スタンプ台スポンジなど
	・スタンプ台で FC コートの上をたたくようにしてコンクリート風の模様を付けます。 ・パターン液は現場に合わせて水で希釈し濃度を調整してください。 ・色は PT-N の 1 色です（日塗工 N-55 程度）。			
上塗り 2 層目	WS 疎水剤	0.07～0.09	—	ローラーまたはエアレス
全体チェック	・やや離れたところから見て、色ムラがないかを確かめてください。 ・色ムラがあった場合は、もう一度 FC コート+上塗りで直してください。 ・足場のある間に、全体のバランスを再確認してください。			

■　WS 疎水剤は、合計 **0.20～0.25kg/㎡**使用してください。

- 下地により塗布量が変わる場合がございます。
- 打放しコンクリート以外の下地に関しては念のため当社にご相談ください。
- 乾燥時間は季節により異なりますのでご注意ください。
- FC 特殊工法動画配信中！　→　https://www.dainichi-g.co.jp/lineup/fccoat/#link05

↓パターン付けイメージ

ＦＣコートまたはパターン液を
刷毛でスポンジに付けます

スポンジ同士をポンポンはたき
馴染ませます

施工面に軽く叩くようにして
模様を付けます

荷姿

製　品　名	荷　姿
WS-A（ツヤ有）	15kg／缶
WS-B（ツヤ消）	15kg／缶
FC コート	7kg･20kg／缶
パターン液	1･4･7･20kg／缶
スタンプ台	1 個
WS プライマー200	16ℓ／缶
プライマーアクア#50	15kg／缶